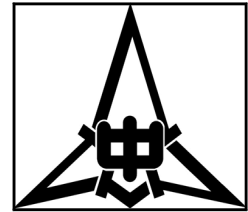


平成28年度

二中だより 3月号



学校教育目標「こころざしを持ち 自分の道を切り拓く生徒」
重点目標「伝え合う 役立つ行い 明るいあいさつ」

島田市立島田第二中学校 平成29年3月10日発行 Tel : 0547-37-6191

★Webページアドレス www.shimada.ed.jp/2-jh

卒業式は中学校最重要行事

校長 西田正鋭

柔らかな印象を与えてくれる弥生3月に入りました。木々の芽吹きも始まっています。「冬来たりなば春遠からじ」という言葉があります。長い冬を通り越そうとしているこの時期は、希望や可能性を感じさせてくれます。

先日、二中の現状や今後について意見をいただく学校評議委員会が開かれました。何回も学校を訪問してくださる学区に居住の方々ですので、二中の様子をよく理解されています。その評議委員の方々から、以下のようなコメントをいただきました。「3年生の態度が立派で、学年が上がるにつれての成長が見られる」「大変落ち着いた態度でどの生徒も授業に意欲的である」「先生方に授業の工夫が見られる」「大変良くなっている現状をもっと地域や保護者にアピールするべきだ」等の言葉です。大変ありがたく、勇気をいただきました。

評議委員の方からのアドバイスもあり、二中生の良さを先月行われたアンケート結果から拾ってみます。(HPでも一部紹介しました。小数は四捨五入してあります。)

- 仲の良い友達がいる・・・・・・・・・・・・・・・・99%
- 正しい服装で生活している・・・・・・・・・・95%
- 朝8時5分までに着席している・・・・・・・・95%
- 学校生活は楽しい・・・・・・・・・・・・・・・・93%
- 困っている仲間に優しく声をかけることができる・93%
- 委員会や係活動など、
自分の役割を責任持って行っている・・・・・・・・93%
- 1分前着席を意識して行動している・・・・・・・・93%
- 朝読書は自分で本を選び、
読み終わるまで継続して読んでいる・・・・・・・・90%



90%を超えた項目について紹介しましたが、この調査は毎年行っているものです。特筆すべきは、調査項目の3分の2以上がここ3年間の中で最も良い結果だったということです。また、「二中学生としての誇りを持っている」と回答した生徒が85%以上おり、学年が上がるにつれて結果が良くなっています。3年生を中心に、二中全体の質が高まっていることがわかります。

その3年生は、卒業に向けての活動を始めました。卒業式は、学校の最重要行事です。それは、中学校3年間、義務教育9年間が凝縮された場だからです。今までの取り組みを肯定的に捉え、卒業生の今後に勇気や希望を与える場だからです。勇気や希望は、心にぐっとくる感動から生まれます。その感動は、この学校で良かった、この仲間と学んで良かったとの思いから来るものです。活動が充実し、友達、後輩、保護者、教師等との関係性が強いほど感動も大きくなります。先日、3年生の全体合唱を聞いていて心から感動しました。今年の3年生は、アンケート結果からもわかるように感動を生むにふさわしい活動が仲間と共にできています。きっと当日もこのことが表現されると確信しています。

卒業式を共に創る1・2年生も成長しました。身体や学力だけでなく、上級生から団結のすばらしさや苦しくてもやり抜く大切さも学びました。卒業式では、3年生の姿を見て自分たちの1・2年後の姿として目に焼き付けるはずで、「卒業とは、大人の階段を登ること」と言った人がいます。その3年生にエールを送るために、皆の手で卒業式を創り上げ、感動を共有したいと思います。

